

地域の防災力 向上を目指して



今年3月11日、日本各地に甚大な被害をもたらした東日本大震災。
災害はいつ、どこで起こるか分かりません。
自分と家族を、そして自分たちの住むまちを守るために。
家族で、そして地域で、災害に備えて防災力を高めましょう。

詳細 総務企画課地域安全担当 ☎ 889-2400(内線 218・209)

地域力を高める

災害が起こったとき、真っ先に力を発揮する地域の助け合い。地域や区では防災訓練や研修会などを開催し、防災力を高めるために日頃から取り組んでいます。



災害時助け合い活動研修会

清田区防災訓練



災害図上訓練

冬の地震避難体験訓練

北野防災研究会

頼りになる地域の助け合い

災害が発生した場合、交通網の寸断などにより、消防や警察などの行政による救助や支援が間に合わないといった事態が予想されます。このような状況の中、真っ先に頼りになるのは「地域の助け合い」です。

阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋などから救助された人のうち約8割が家族や近隣住民によって救助されていることから、地域の助け合いが被害を軽減させる重要な役割を果たしていることが分かります。

清田区の取り組み

清田区では、地域の防災力向上に向けた活動支援を重点的に行っています。

その一つとして、町内会連合会や民生委員・児童委員など、地域で防災や福祉に携わる方を対象に研修会を開催。その他、防災訓練や町内会の自主防災活動への支援など、防災体制の確立と区民の防災意識の向上に取り組んでいます。

地域の取り組み

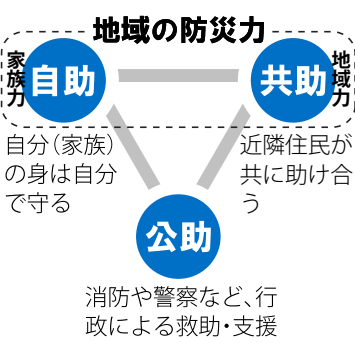
区内各町内会・自治会では自主防災組織を結成(結成率100%)。災害時の役割を

決め、防災訓練や災害図上訓練などを行っています。

北野地区では防災研究会を立ち上げ、災害時に避難の手助けが必要な人を地域で支援する活動を、平岡地区では冬の災害を想定した訓練を行うなど、日頃から地域力向上を目指して活動しています。

地域の防災力向上に向けて

災害による被害を最小限に抑えるためには、行政による救助や支援「公助」はもちろんのことですが、まずは自分の身を自分で守ること「自助」が基本。その上で自分たちのまちを自分たちで守るために、地域が連携し協力し合うこと「共助」が重要となります。



住民一人一人が、地域が、そして行政が、それぞれ防災力を身に付け、高め、災害に対する意識を高く持ち続けることが大切です。